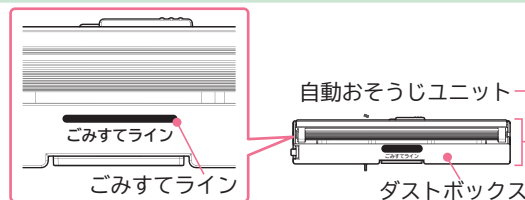


お手入れするときは(続き)

ごみすてランプ点灯のとき→(P.36~38)

- ごみすてランプはお手入れの目安として約1年(連続運転の場合)の運転を行ったときに点灯します。
- 使用環境によって、ほこりの量は異なります。ごみすてランプが点灯しなくてもこまめに自動おそうじユニットのダストボックスを確認して、自動おそうじユニットのごみすてラインをごみが越えた場合は、ごみ捨てとお手入れを行ってください。



1 運転が停止していることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜く

- 運転中のときは、①電源ボタンを押して、運転を停止してください。
- ごみすてランプは、電源プラグを抜くと運転時間がリセットされ消灯します。(ごみすてランプが消灯している場合は、電源プラグを抜いても運転時間はリセットされません)

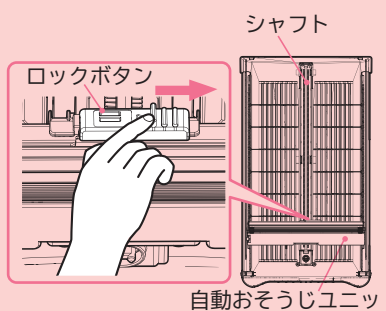
2 背面パネルを取り外す→(P.14)

3 自動おそうじユニットを取り外す

- ロックボタンをスライドさせて、自動おそうじユニットを取り外します。

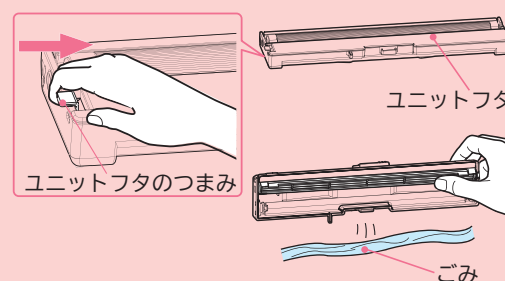
ご注意

- 背面パネルのシャフトを持って、持ち上げないでください。シャフトが変形して故障の原因になります。
- 自動おそうじユニットをロックしたまま、無理に外さないでください。破損の原因になります。



4 ユニットフタを取り外して、ごみを捨てる

- ユニットフタのつまみを押しながら、フタを持ち上げ取り外して、ごみを捨てます。ユニットフタを取り外すときにごみがこぼれないように注意してください。
- 自動おそうじユニット、背面パネルなど本体各部はほこりや汚れが付着しますので、こまめにお手入れをしてください。→(P.38, 39)

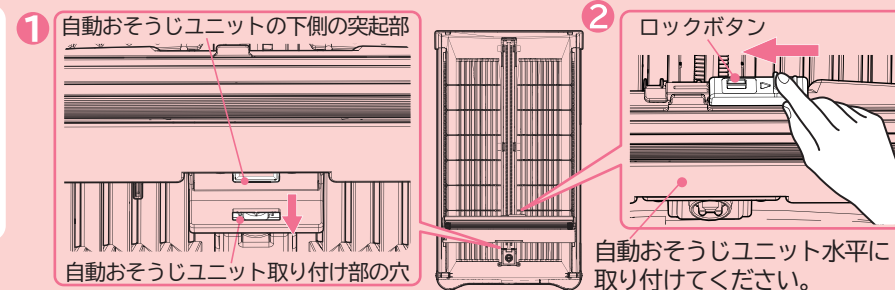


5 自動おそうじユニットを取り付ける

- ①自動おそうじユニットの下側の突起部を自動おそうじユニット取り付け部の穴に入れます。
- ②ロックボタンをカチッと音がするまでスライドさせて、自動おそうじユニットを取り付けます。

ご注意

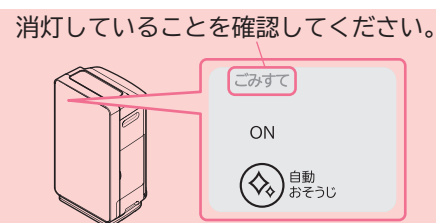
- 自動おそうじユニットを傾けて取り付けないでください。異音、運転できない原因になります。



6 背面パネルを取り付ける→(P.15)

7 電源プラグをコンセントに差し込み、①電源ボタンを押す

- ごみ捨て後、ごみすてランプが消灯していることを確認してください。



お困りのときは

湿度・温度モニターにお知らせ表示されたとき

お知らせ表示と内容	直しかた
E1 集じんフィルターがセットされていません	集じんフィルターを取り付けてください。それでも同じ表示がでた場合は、集じんフィルターが変形して、つぶれている場合があります。集じんフィルターを交換してください。
E2 加湿フィルターがセットされていません	加湿フィルターを取り付けてください。
E3 背面パネルが取り付けいていません	背面パネルを正しく取り付けてください。背面パネルの上側のつめ(2か所)を本体に差し込み、下側の左右を交互に押し、カチッと音がするまで確実に閉じます。→(P.15)
E8 振動センサーが感知しました	電源プラグを抜いて、約5秒待つてから再度差し直してください。本体が転倒して水タンク内の水がこぼれている場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
F1 ファン回転故障	電源プラグを抜いて、再度差し直してください。それでも同じ表示がでた場合は、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

修理を依頼される前に 次の点をもう一度確認してください。

こんなときは	ここを確認してください	直しかた
風が出ない または、 電源が入らない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていませんか。 ●ブレードが切れていませんか。 ●本体「電源」ボタンで電源を入れましたか。 ●集じん、脱臭、加湿フィルターは正しく本体に取り付けられていますか。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。 ●ブレードを入れます。 ●「電源」ボタンを押して電源を入れます。 ●正しく本体に取り付けてください。→(P.14~16)
加湿しない	●給水ランプが点灯していませんか。 ●加湿お手入れランプが点灯していませんか。 ●湿度モニターが70%を表示していませんか。	●水タンクに水を入れてください。→(P.33,34) ●「お手入れのしかた」の「加湿お手入れランプ点灯のとき」をご覧ください。→(P.30~33) ●湿度に応じた自動運転をしています。→(P.21)
加湿お手入れ ランプが消えない	●電源プラグを抜いて、加湿お手入れランプのリセットをしましたか。	●電源プラグを抜くと加湿運転時間がリセットされ消灯します。→(P.30)
ごみすてランプが 消えない	●電源プラグを抜いて、ごみすてランプのリセットをしましたか。	●電源プラグを抜くと、運転時間がリセットされて消灯します。→(P.36, 37)

●上記の症状以外の場合は、取扱説明書の「修理を依頼される前に」をご覧ください。→(P.46~48)

こんなときは故障ではありません

こんなときは	原因(故障ではありません)
加湿運転中、肌保湿運転中に、ときどき「ウィーン」「ガラガラ」などの音がる	数分から十数分に一度、数秒間水タンクから水を吸い上げているときの音です。
湿度・温度モニターの表示値と、お部屋の湿度計・温度計の表示が異なる	湿度・温度モニターに表示される温度・湿度は目安です。また、室内の環境差により表示が異なる場合があります。

●上記の症状以外の場合は、取扱説明書の「こんなときは故障ではありません」をご覧ください。→(P.49, 50)

日立 加湿 空気清浄機 クリエア EP-LVG90 LVG110

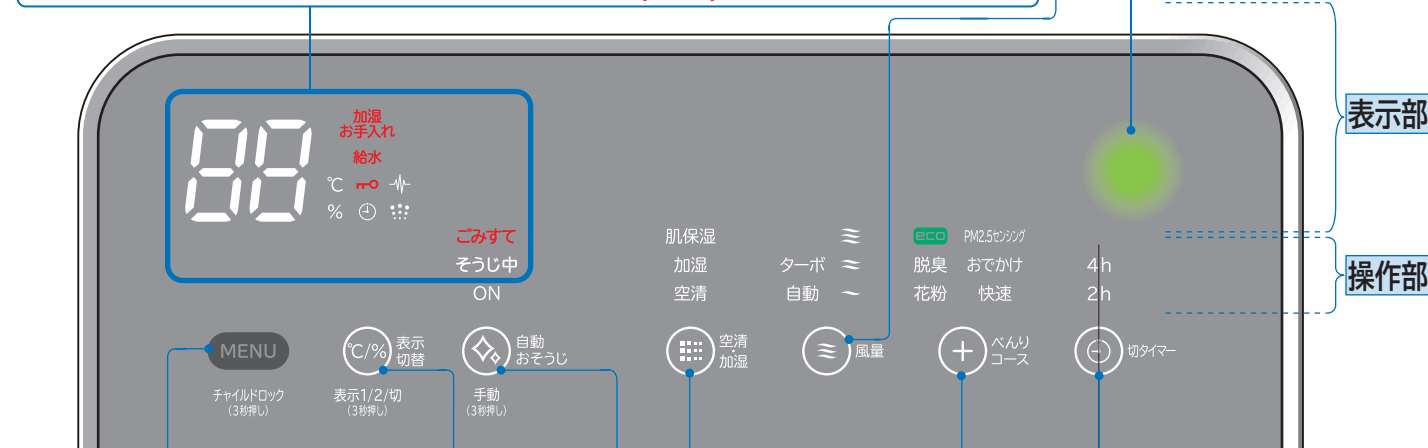
カンタンご使用ガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
→(P.00)：このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

タッチ操作部のはたらき

- すべての運転モードにおいて、空気清浄機能が働いています。
- タッチ操作部は、ガラスタッチ式です。
- タッチ操作部の表示が消灯している場合は、**MENU** をタッチするとタッチ操作部が表示されます。再び **MENU** をタッチするとタッチ操作部の表示が消灯します。
- タッチ操作部は上段が表示部、下段が操作部です。
- タッチ操作部にタッチして設定を切り替えてお使いください。

お知らせ表示	直しかた
湿度・温度モニター	●運転中、お部屋の温度または湿度を表示します。あくまでも目安です。→(P.28) ●運転中などに発生したお知らせ内容が表示されます。例：[!、F!] など→(P.45)
加湿 お手入れ	加湿フィルターのお手入れ時期をお知らせします。運転時間によるお知らせ(目安)です。→(P.30~33)(点灯後に電源プラグを抜くとリセットされ消灯します)
給水	水タンクの水が少なくなるとお知らせをします。→(P.33, 34)
🔒	チャイルドロックを設定したときに点灯します。→(P.25)
🕒	切タイマー設定をお知らせします。→(P.24)
PM2.5	PM2.5センシング設定をお知らせします。→(P.24)
🌿	加湿、肌保湿運転モードをお知らせします。→(P.21)
ごみすて	ごみすて時期に点灯します。運転時間によるお知らせ(目安)です。→(P.36)(点灯後に電源プラグを抜くとリセットされ消灯します)
そうじ中	自動おそうじ運転中に点灯します。→(P.26)



MENU

- 表示部・操作部の表示が消えている場合は最初にタッチします。→(P.24)
- チャイルドロック(MENUを約3秒長押し)誤操作を防止したいときに操作します。→(P.25)

表示切替

- 温度・湿度モニターの表示を切り替えます。→(P.24)
- タッチ操作部の表示内容を切り替えます。(表示切替を約3秒長押し)→(P.20)

空清・加湿 →(P.21)

- 運転モードを切り替えます。
- 自動おそうじ→(P.26)
- 自動おそうじを設定するときに操作します。
- 自動おそうじを手動で行うときに操作します。(自動おそうじを約3秒長押し)

切タイマー →(P.24)

- 切タイマーを設定するときに操作します。

べんりコース →(P.22)

- べんりコースを選ぶときに操作します。

お知らせ

- ガラスタッチ式は、周囲の温度・湿度、お使いいただく方の体調、隣接する電気製品の動作状態により反応が変わる場合があります。
- タッチしても反応しないときは、一度指を離して再びタッチしてください。タッチとタッチの間隔が短いと誤反応する場合があります。強くタッチしても感度は変わりません。
- 操作部がぬれていたり汚れていたりすると、反応しない場合があります。乾いた布でふき取ってください。
- 日の当たる窓の近くなどの明るい場所では、表示が見にくくなります。

運転前の準備

フィルターを本体にセットする →(P.14~16)

1 背面パネル、プレフィルター、フィルターを取り外す

- 1 本体を水平で安定した場所に置きます。
- 2 背面パネルの下側のボタン(左右2か所)を押して、ゆっくり手前に引き、上側へ少しずらして取り外します。
- 3 つまみ(2か所)を上へスライドしてロックを外し、プレフィルターを取り外します。
- 4 本体内から集じんフィルターと脱臭フィルターを取り外します。
- 5 フィルターをポリ袋から取り出します。

2 脱臭フィルターと集じんフィルターを本体に取り付ける

- 1 ラベルの脱臭フィルターセット位置にセットしてください。
- 2 本体のつめを上へ押しながらか脱臭フィルターをセットして、脱臭フィルターのつめを本体のつめに引っ掛けてください。
- 3 集じんフィルターを右図を参照し、正しくセットしてください。

3 プレフィルターを本体に取り付ける

- 1 プレフィルターのつめを本体の差し込み穴に確実に差し込みます。
- 2 つまみ(2か所)を下側にスライドしてロックします。
- 3 プレフィルターが外れないことを確認します。

4 背面パネルを本体に取り付ける

- 1 背面パネルの上側のつめ(2か所)を本体の差し込み穴に差し込みます。
- 2 パネル下側の左右を交互に押して、カチッと音がするまで確実に閉じます。
●パネルを確実に取り付けないと温度・湿度モニターに「E3」と表示され運転できません。

5 加湿フィルターをセットした水受けトレイが本体に取り付けられていることを確認する

●加湿フィルターを取り付けしないと温度・湿度モニターに「E2」と表示され運転できません。

注意 ●加湿フィルターは、本体の奥まで押し込んで確実に取り付けください。取り付けが不十分だと、運転中に水が漏れる原因になります。また、本体が動かないように押さえながら取り付けください。

水タンクに水を入れる(「加湿」、「肌保湿」運転モードで運転するとき) →(P.16~17)

1 本体から水タンクを取り出す

●水タンクのハンドルに手を掛けて、少し持ち上げながら静かに引き出します。

ご注意 ●本体から水タンクを取り出す際は、本体底面にキャスターが付いていますので、動かないように本体を押さえながら、静かに引き出してください。(キャスターにストッパーはありません)

2 水タンクからタンクカバーを外す

ご注意

- タンクカバーを外すときは、指先や爪をいためないように注意してください。
- 水タンクフィルターに無理な力が加わらないようにしてください。破損すると水を吸い上げることができなくなります。

3 水タンクとタンクカバーを水ですすいで、フロートスイッチの動作を確認する

●水道水で2~3回すすいでください。洗剤は使わないでください。

●フロートスイッチが上下に動くことを確認してください。

4 水タンクに水を入れて、タンクカバーを取り付ける

●水タンク側面の線を超えないように水を入れてください。

●水タンクのまわりに付いた水気は、ふき取ってください。

●水タンクに水を入れて持ち運ぶときは、タンクカバーを取り付けて、しっかり持ってください。

線を越えないように水を入れてください。

5 本体に水タンクを取り付ける

●水タンクを取り付ける際、水タンク収納部(内部)にずくが落ちている場合は、ふき取ってください。

注意 ●水タンクは、本体の奥まで押し込んで確実に取り付けください。取り付けが不十分だと、運転中に水が漏れる原因になります。また、本体が動かないように押さえながら取り付けください。

運転を始める

1 電源プラグをコンセントに確実に差し込む

2 ① 電源ボタンを押す

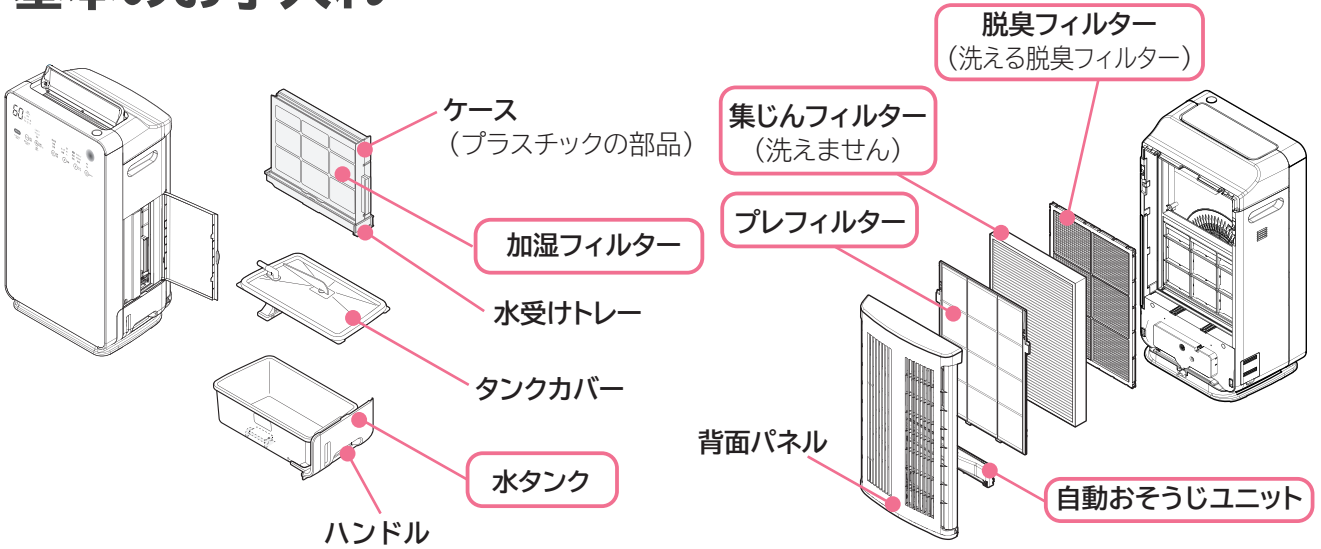
停止する場合は、運転中に①電源ボタンを押す

●一旦全ての表示が点灯後、運転モードの「空清」「自動」ランプが点灯します。

●最初の3分間は部屋の空気の状態を調べて記憶します。その間「クリーンモニター」が緑色に点滅します。

点滅

基本のお手入れ



お手入れするときは

運転が停止していることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜く

●運転中のときは、①電源ボタンを押して、運転を停止してください。

●パネル、プレフィルター、集じん・脱臭フィルター、水タンクの取り外しかたは、カンタンご使用ガイドのP.2~3を参照してください。

プレフィルター(こまめにお手入れしてください) →(P.40)

●掃除機などでほこりを取り除く。

●掃除機のブラシ付きノズルを軽く当ててほこりを吸い取ってください。

●汚れがひどい場合は、強い力を加えずに市販のやわらかいスポンジで水洗いをして、十分に水を切って、日のあたらぬ風通しのよい場所で乾燥させてください。

水タンク(毎日) →(P.34)

●必ず1日1回は新しい水道水に交換してください。(タンクに水が残っている場合は捨ててください)

●水道水を少量入れ、タンクカバーと水タンクをしっかりと押さえながら振り洗いをしてください。(水を入れ替えて2~3回)

集じん・脱臭フィルター(こまめにお手入れしてください) →(P.40)

●集じんフィルター、脱臭フィルターのほこりにはおいの原因になるので、掃除機などで取り除いてください。

●掃除機のブラシ付きノズルを軽く当ててほこりを吸い取ってください。

加湿フィルター(約1ヶ月に1回以上) →(P.31)

ケースから外さないでください。

●水、ぬるま湯または台所用中性洗剤を溶かした水に、30分以上つけおき洗いをします。

●新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いをします。(2~3回繰り返します)

●軽く振って水を切ります。(水がしたたり落ちない程度)

●ぬれたままでは使用しないでください。水滴がまだ残っている場合は、水滴をふき取ってください。

●吹き出し口から、水滴が吹き出したり、脱臭効果が低下し、異臭の原因になります。

脱臭フィルター(約6ヶ月に1回以上) →(P.41)

脱臭性能を維持するため、こまめなつけおき洗いをおすすめします。

●掃除機などでほこりを取り除く。

●水またはぬるま湯(約40℃)に約3時間程度つけおき洗いをします。

●陰干しで十分に乾燥させます。(風通しのよい場所で約1日)

●ぬれたままでは使用しないでください。水滴がまだ残っている場合は、水滴をふき取ってください。

●吹き出し口から、水滴が吹き出したり、脱臭効果が低下し、異臭の原因になります。

加湿フィルター(約1ヶ月に1回以上) →(P.31)

ケースから外さないでください。

●水、ぬるま湯または台所用中性洗剤を溶かした水に、30分以上つけおき洗いをします。

●新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いをします。(2~3回繰り返します)

●軽く振って水を切ります。(水がしたたり落ちない程度)

●ぬれたままでは使用しないでください。水滴がまだ残っている場合は、水滴をふき取ってください。

●吹き出し口から、水滴が吹き出したり、脱臭効果が低下し、異臭の原因になります。

脱臭フィルター(約6ヶ月に1回以上) →(P.41)

脱臭性能を維持するため、こまめなつけおき洗いをおすすめします。

●掃除機などでほこりを取り除く。

●水またはぬるま湯(約40℃)に約3時間程度つけおき洗いをします。

●陰干しで十分に乾燥させます。(風通しのよい場所で約1日)

●ぬれたままでは使用しないでください。水滴がまだ残っている場合は、水滴をふき取ってください。

●吹き出し口から、水滴が吹き出したり、脱臭効果が低下し、異臭の原因になります。